

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成31年1月29日（火）
- 2 確認箇所
1号機原子炉建屋上部
- 3 確認項目
1号機原子炉建屋北側がれき撤去作業時のダスト飛散防止対策状況

4 確認結果の概要

原子炉建屋オペレーティングフロアには、水素爆発によって崩落した屋根等が残置されているが、これまでに北側のルーフブロックや屋根スラブ、デッキプレート等の撤去が完了した。今回、オペレーティングフロアに南北に繋がった状態で残置されている屋根鉄骨について、切断装置を用いた分断作業が新たに開始されることから、作業開始前にダスト飛散防止対策を確認した。

- ・東京電力によると、定期的に飛散防止剤を散布するほか、切断装置に取り付けた散水機能により、切断箇所に水を噴射しながら切断を行うとのことであった。
- ・また、切断作業により、南側に残置されているがれき等に影響を与えないよう振動の小さい装置を使用するとのことであった。



（写真1）本日確認した1号機原子炉建屋上部の様子

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。